NINJAL国際シンポジウム

2016年1月23日

バックワードデザインに基づく日本語指導
ーカリキュラムとクラス活動ー

カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
片岡裕子

目標【オブジェクティブ】

- カリキュラムデザインのプロセスが言える
- なぜ目標設定が必要かが説明できる
- 学習者にとって適切、かつ現実的な目標設定の必要性とその内容が説明できる
- 日本語能力を伸ばすための、クラスにおける評価の必要性と方法が説明できる
- 学習活動の方法と教材作成の方法のあらましのが言える。
- 上記をふまえた上で、バックワードデザインに基づいたカリキュラムが作成できる。

© 片岡裕子2016

カリキュラムとは

『カリキュラム』とは、教育目標を達成するために各学校が行う教育活動全般を指します。具体的には、目標、内容、指導計画、指導方法、教材・教具、児童生徒の学習活動そして評価という一連の教育活動を総合化したものです。』

（やまぐち総合教育支援センター）
http://www.ysn21.jp/kaihou/karikyuramutowa.htm

© 片岡裕子2016

バックワードデザインとは?

ステップ	伝統的なカリキュラムデザイン	バックワードカリキュラムデザイン
1	教える内容のリスト作成 →	学習目標【ゴール、オブジェクティブ、アウトカム】決定
2	学習活動デザイン	評価デザイン
3	評価【テストそのほか】デザイン	学習活動デザイン

このスライドは片岡裕子／ダグラス昌子によるバックワードデザインのワークショップ（2015年2月）でダグラスが作成したスライドを、片岡が許可を得て借用、変更したものである。

© 片岡裕子2016

カリキュラム

1. 目的と、求めている結果が何かをはっきりさせる。

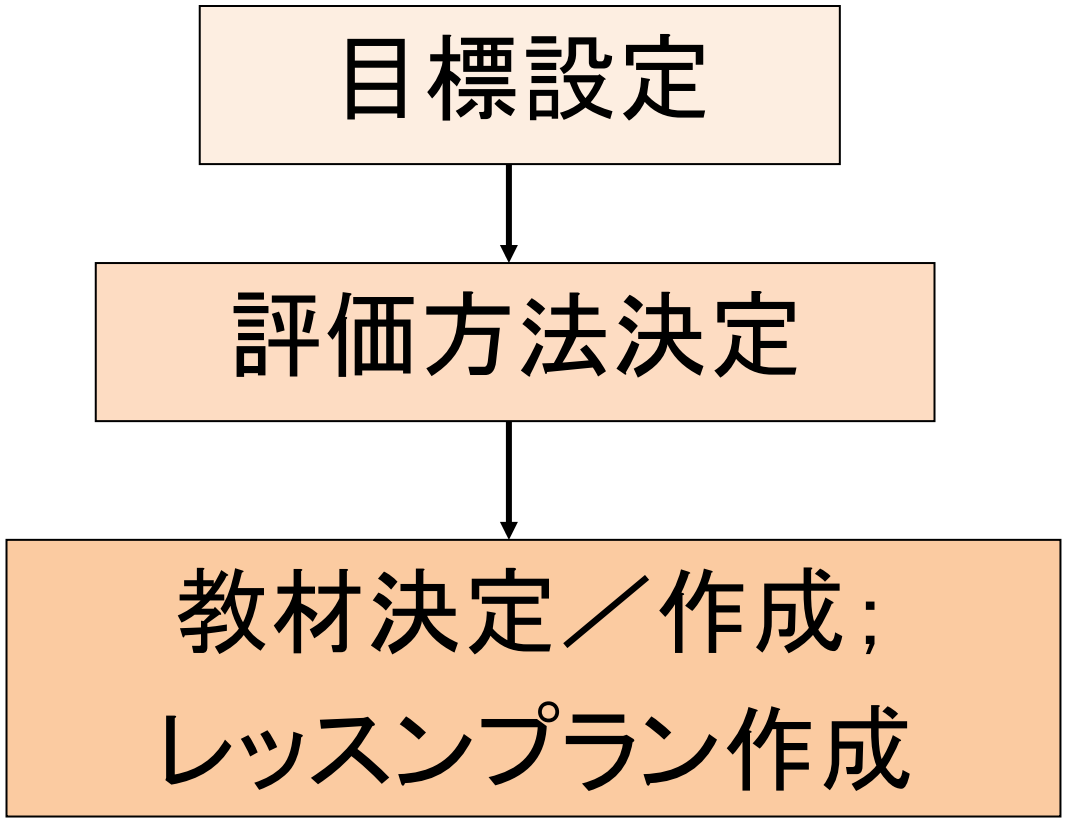
2. その結果に達したかどうかがどうすれば分かるかを考え、評価方法を決定する。(「これができれば、ゴール達成！」)

そこで初めて、、、

3. 学習活動デザインを決める。(内容、アプローチ、教材、学習活動の組み合わせなど)

© 片岡裕子2016

カリキュラムの基本：バックワードデザイン



© 片岡裕子2016

伝統的カリキュラムデザインと
バックワードカリキュラムデザインの比較

伝統的カリキュラムデザイン	バックワードカリキュラムデザイン
• その日その日の学習内容に焦点が行き、何を学習するのかがわからなくなる。 • 評価事項が、その日その日の学習に左右され、予定したものと全く違ったものになる	• その日その日の学習事項ではなく、ユニットが終ったときに何を学習し終えるのかというグローバルな目標がはっきりわかる • 初めに決めた評価事項を目指して学習が進むので、大きく変わることはない。

このスライドは片岡裕子／ダグラス昌子によるバックワードデザインのワークショップ（2015年2月）でダグラスが作成したスライドを、片岡が許可を得て借用、変更したものである。

© 片岡裕子2016

学習目標について

© 片岡裕子2016

「学習目標」とは

- カリキュラムを作る上で最重要事項
- ゴール、オブジェクティブ，ラーニング・アウトカムの三種類の用語がある

© 片岡裕子2016

ゴールとオブジェクティブ／ラーニングアウトカムの違い

ゴール	オブジェクティブ／ラーニングアウトカム
広い意味での目標	狭い意味での目標
一般的な意向	はっきりした目標
抽象的	具体的
長期間で達成：プログラム全体（数年）、１年など	短期間で達成：コース、ユニット（レッスン）、週、日、など
成果は簡単にはかれることもはかれないこともある	評価ができ、成果がはかれる

© 片岡裕子2016

「オブジェクティブ」と「ラーニングアウトカム」の違い

オブジェクティブ	ラーニングアウトカム
学習の結果、出来るようになるはずのこと	学習が起こったことを示す結果
期待されていること、評価されるべきこと	学習した結果、学習者が実際にする、またはしたこと、評価の直接の対象

© 片岡裕子2016

ゴール、オブジェクティブ、ラーニングアウトカムの例1

ゴールの例（一部）：

インターパーソナルコミュニケーション、交流ができる。
（日常生活に不可欠な、簡単な日常会話レベルでの受け答えができる。覚えた言い回しだけではなく、いろいろな言い方を工夫し、自分の言葉で質問をしたり、質問に答えたりすることができる。）

オブジェクティブの例（一部）：

- 買い物に関係のある語彙や言い回しが使える。
- 店の種類やタイプが言え、どの店で何が買えるかが説明できる。
- 店員に簡単な質問をして、買い物に必要な情報を得ることができる。

アウトカム（一部）：

- 買い物に必要な語彙や表現を使って買い物のロールプレイをする（ことができる）。
- 店の種類とそれぞれの店で売っている品物のリストを作り、口頭で説明する（ことができる）。
- 店員に簡単な質問をして、買い物に必要な情報を得、購入したい品物を買う（ことができる）。

© 片岡裕子2016

ゴール、オブジェクティブ、ラーニングアウトカムの例2

ゴール（直接測定は難しい）

日常生活において日本語でコミュニケーションを図り人々と交流する。

オブジェクティブ（測定可能）

このクラスを終えた学習者は：

産出物、スキル／パフォーマンス、内容／知識等	「アクション」動詞
• 自分を／自分について	描写することができる
• 買い物をするために必要な情報を	入手することができる
• 注文したい品物を	選ぶことができる

このスライドは片岡裕子／ダグラス昌子によるバックワードデザイン関係のワークショップ（2015年5月）でダグラスが作成したスライドを片岡が使用の許可を得て日本語に訳したしたものである。

© 片岡裕子2016

ゴール、オブジェクティブ、ラーニングアウトカムの例2

ラーニングアウトカム(測定可能，評価と直結)

基準（パフォーマンスの状況や条件）	産出物、スキル／パフォーマンス、内容／知識等	「アクション」動詞
• 始めて会った人に口頭で、またブログ等への書き込みや電子メールで	自分を	描写することができる
• 値段や大きさ、他の商品について簡単な質問をすることで	買い物をするのに必要な情報を	入手することができる（ロールプレイ）
• 予算に合わせてメニューから、	注文したい品物を	選ぶことができる

このスライドは片岡裕子／ダグラス昌子によるバックワードデザイン関係のワークショップ（2015年5月）でダグラスが作成したスライドを片岡が使用の許可を得て日本語に訳したしたものである。

© 片岡裕子2016

オブジェクティブ／アウトカム用の動詞

使わない	使う
分かる（ようになる）、 理解する、 知る、 認識できる、 、楽しむ、 考えさせる。 、読める	書く、 言う、 説明する、 （正しい方を）選ぶ、 違いを述べる、 比較する、 感想を言う、 意見を述べる、 要旨を書く

© 片岡裕子2016

ユニットオブジェクティブ/アウトカムの例

トピック: 自分　スキル: 聞き取り

- 「～が欲しいですか」「何／どちらが欲しいですか」という質問に口頭で、または指でさして答える。
- 何をしたいか聞かれたとき、口頭で、または指でさして答える。
- 他の子どもの自己紹介を聞いて、名前、年齢、誕生日リストの中から適切な答えを選ぶ。
- 他人が作った自己紹介のビデオ（YOUTUBE等）を見て、自分のビデオの参考にするために、内容や情報をメモする。
- 自分が作成したプロジェクトのドラフトについての教師やクラスメートの批評を聞き、それに沿ってプロジェクトを改良する。

© 片岡裕子2016

ユニットオブジェクティブ/アウトカムの例

トピック: 家族　スキル:話す

- 家族が週末や余暇にする(のが好きな)ことを言う／聞く。
- 家族が好きな、または得意なスポーツや学科の名前を言う。
- 簡単な家系図をかいて、人々の関係を言う。
- 家族の職業、年齢、趣味、特技などについて紹介する。
- 家族の生い立ちを説明する。
- 何かがどのぐらい上手にできるかを、例をあげながら説明する。

© 片岡裕子2016

ユニットオブジェクティブ/アウトカムの例

トピック:食べ物　スキル:読み

- 簡単なレシピにある材料名を読み、実際の食べ物、または食べ物の絵から、必要な材料を選ぶ。
- 仮名で書かれたメニューから自分の好きな食べ物の名前を見つけてその絵を描く(e.g., スパゲッティー、ケーキ、サンドイッチ).
- 仮名で書かれたファーストフードレストランのメニューを見て、欲しいものを買う。(値段を見て注文し、正しい金額を払う。
- レシピを読んで、書かれている料理を指示通りに作る。
- レストランガイドを読んで、そこに大切な顧客を連れて行くかどうか判断し、その理由を述べる。(英語でも日本語でもよい。)

© 片岡裕子2016

ユニットオブジェクティブ/アウトカムの例

トピック：健康　スキル：書き

- 仮名と適切な漢字を使って、健康な生活をおくるためにしていいことと悪いことのリストを作る。
- 「食べる, 飲む, 洗う, 寝る, 起きる」の漢字を書き写す
- 健康な生活をするための標語のポスターを作る。
- 医者とアポを取るために、自分の症状を書いて電子メールで送る。
- 健康的な生活をおくりたいと相談して来た友人に、アドバイスの手紙を書く。

© 片岡裕子2016

オブジェクティブ

以下はいい「オブジェクティブ」でしょうか。もし違うとしたらなぜでしょうか。

1. 短いお話を聞いて理解できる。
2. 聞く力をつける。
3. 日本文化にふれる。
4. 漢字が正しく書ける。
5. 音読ができる。
6. 作文が書ける。
7. カタカナが書ける。
8. １から１００までの数字が言える。
9. 「て―形」が作れる。
10. 「ましょう」を使う。
11. 助詞の「は」、「の」、「を」、「に」、「が」が使える。

© 片岡裕子2016

言語のオブジェクティブの設定

1.「機能」について

- 次の2つの違いは何ですか。
  - このレッスンが終わると、生徒は:
    1.「～ませんか」が使えるようになる
    2. 誰かを何かに誘うことができるようになる

- これらのオブジェクティブを達成するためのクラス活動はどのように違いますか。

© 片岡裕子2016

言語のオブジェクティブの設定

1.「機能」について

- 機能とは:
- コミュニケーションのために言語がする働き
- 何のために言語を使うかという目的
- 例:　比較する、説得する、質問する、頼む、等
- それぞれの機能を表す構文(「形」)がある

© 片岡裕子2016

言語のオブジェクティブの設定

1.「機能」について

＊次のかたちはどのような機能を表しますか。

＊～なさい	命令
＊～てはいけない	禁止
＊～と思う	意見／考え
＊XはAdj.だ	描写
＊XはYより～だ	比較
＊～て	？？？

© 片岡裕子2016

言語のオブジェクティブの設定

1.「機能」について

* 次の機能ははどのような形で表わされますか。
  * 好き嫌いを述べる
  * 許可を与える
  * 質問をする
  * 順序立てて説明する
  * 予想／予測する

© 片岡裕子2016

言語のオブジェクティブの設定

まず最初に・・・

1. 機能
2. トピック／テーマ
3. 場面／状況
4. スキル

それから・・・

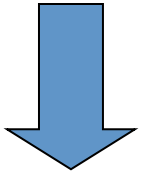
5. 語彙
6. 文法

© 片岡裕子2016

語彙と文法について

＊語彙：語彙だけのコミュニケーションは限りがある。

＊文法：文法だけ身に付いても何もできない



＊機能／場面などが必要。

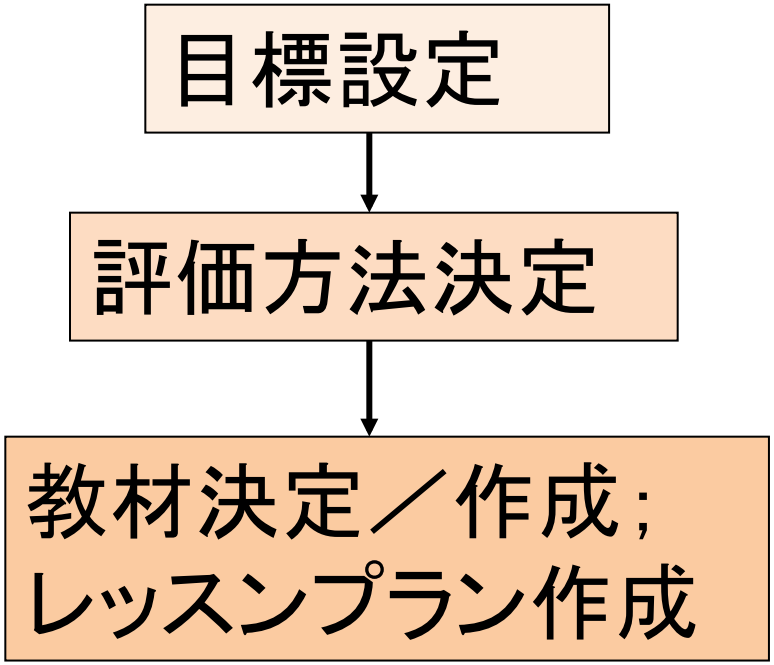
★しかし、語彙と文法なしでは何もできない！

© 片岡裕子2016

アセスメント（評価）について

© 片岡裕子2016

バックワードデザイン



© 片岡裕子2016

アセスメントの例

- 「去年勉強したクラスの中で好きだったものを3つ選んで、今度来る留学生に勧めてください。なぜそのクラスが好きだったのか、そしてなぜ勧めるのか、例を2つずつ挙げて説明してください。」

© 片岡裕子2016

評価のタイプ

	到達度(アチーブメント)		熟達度（プロフィッシェンシー）
	形成的（フォーマティブ）	総括的（サマティブ）	
伝統的（トラディショナル）			
代替的（オルタナティブ／パフォーマンス）			

© 片岡裕子2016

評価のタイプ

	到達度(アチーブメント)		熟達度（プロフィッシェンシー）
	形成的（フォーマティブ）	総括的（サマティブ）	
伝統的（トラディショナル）			
代替的（オルタナティブ／パフォーマンス）			

1. 到達度の評価 （アチーブメント）
2. 熟達度の評価（プロフィッシェンシー）

© 片岡裕子2016

評価のタイプ

	到達度(アチーブメント)		熟達度（プロフィッシェンシー）
	形成的（フォーマティブ）	総括的（サマティブ）	
伝統的（トラディショナル）			
代替的（オルタナティブ／パフォーマンス）			

1.1. 形成的評価 （フォーマティブ）:
1.2. 総括的評価 （サマティブ）:

© 片岡裕子2016

評価のタイプ

	到達度(アチーブメント)		熟達度（プロフィッシェンシー）
	形成的（フォーマティブ）	総括的（サマティブ）	
伝統的（トラディショナル）			
代替的（オルタナティブ／パフォーマンス）			

1. 伝統的評価
2. 代替的評価　→パフォーマンスアセスメント

© 片岡裕子2016

評価のタイプ

	到達度(アチーブメント)		熟達度(プロフィシェンシー)
	形成的（フォーマティブ）	総括的（サマティブ）	
伝統的（トラディッショナル）	• 語彙クイズ • 漢字テスト	• 単元テスト • 中間テスト期末試験 • AP の聴解と読解	• SAT（日本語） • 日本語能力試験
代替的（オルターナティブ／パフォーマンス）	• 宿題 • クラス観察 • ディスカッション • ロールプレイ	• プロジェクト • オーラルインタビュー • プレゼンテーション • AP の会話／チャット／アナウンスメント／エッセイなど	• OPI

© 片岡裕子2016

バックワードデザインに基づいた評価

伝統的評価 → 代替的評価
(パフォーマンスアセスメント)

学習目標と評価の一致

学習目標	アセスメント	
	学習目標と一致していない例	学習目標と一致している例
色の名前が言える。	平仮名で書いてある色の名前と正しい色の色紙の絵を線で結ぶ。	待ち合わせをしているブラインドデートの相手に自分が着ている洋服の色を電話で知らせる。
先週末したことについて文が書ける。	１日の活動についての一連の文で抜けている助詞または動詞を入れていく。朝９時に＿＿＿＿＿＿＿＿。朝10時（　）さんぽ（　）行きました。	先週末起こったコンビニ強盗を調べている警察から、防犯カメラに写った人影が自分に似ていると疑われた。アリバイを証明するために、先週末したことについて、何を何時にしたか、した順に文を書いて提出する。
レストランのメニューを読んで注文ができる。	マクドナルドのメニューを見て、何があるか言う。	とてもお腹がすいているという状況設定で、モスバーガーのメニューを見て、予算内で何を買うか決め、注文するというロールプレイをする。
教員室に行き、担任教師に推薦状を書いてもらえるように頼む。	推薦状の依頼の会話（教師と生徒の会話）を書いてきて、クラスで発表する。	（教員室で／スカイプで／電話で）担任教師に推薦状を書いてもらえるように頼む。（実際に、またはロールプレイ）

© 片岡裕子2016

伝統的な「鉛筆と紙の」試験：
コンテクチュアライゼーション

1	次の（　　）の中に適切な言葉を入れてください。（または、あります／います、のどちらかを選んで記入してください。） 例：「この部屋にはテレビが（　　）。そしてドアの前にネコが（　　）。」
2	（部屋の絵を見せて、）絵にあるものと場所をリストしてください。 例：「この部屋の真ん中にテーブルがあります。椅子の上にネコがいます。」
3	あなたのうちに日本人の学生が来ることになりました。1週間ホームステイをします。その人が泊まることになる部屋にどんなものがあるか電子メールで教えてあげてください。写真を一緒に送っても構いませんが、必ず説明も付けてください。 例：「〇〇さんは、私の部屋に泊まります。部屋にはベッドが二台あります。ベッドとベッドの間にナイトテーブルがあります。机は部屋の中にはありません。廊下にあります。」

© 片岡裕子2016

学習目標設定と評価の関係：まとめ

- コースデザイン：設定の順序

  学習目標　→　評価方法　→　授業内容

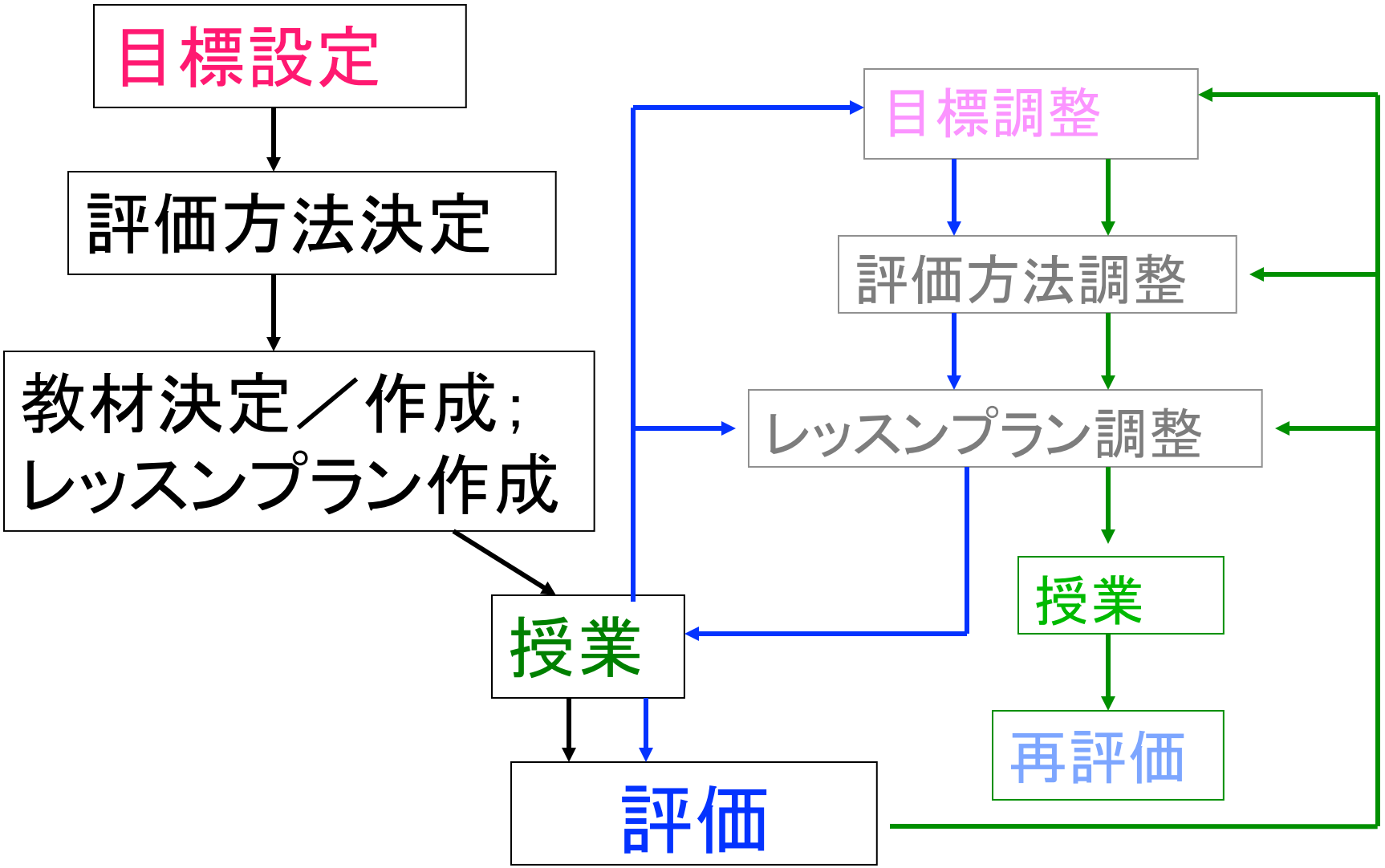
  - 何ができるようになるのか。
  - 何ができれば学習目標が達成されたと判断できるのか。
  - 学習目標を達成する（評価でいい結果を出す）にはどのような授業をすればいいのか。

- 実際のコース運営の順序

  目標 → 授業 ⟷ 形成的評価 ⟷ 授業 → 総合的評価

© 片岡裕子2016

カリキュラムの基本



© 片岡裕子2016

学習活動について

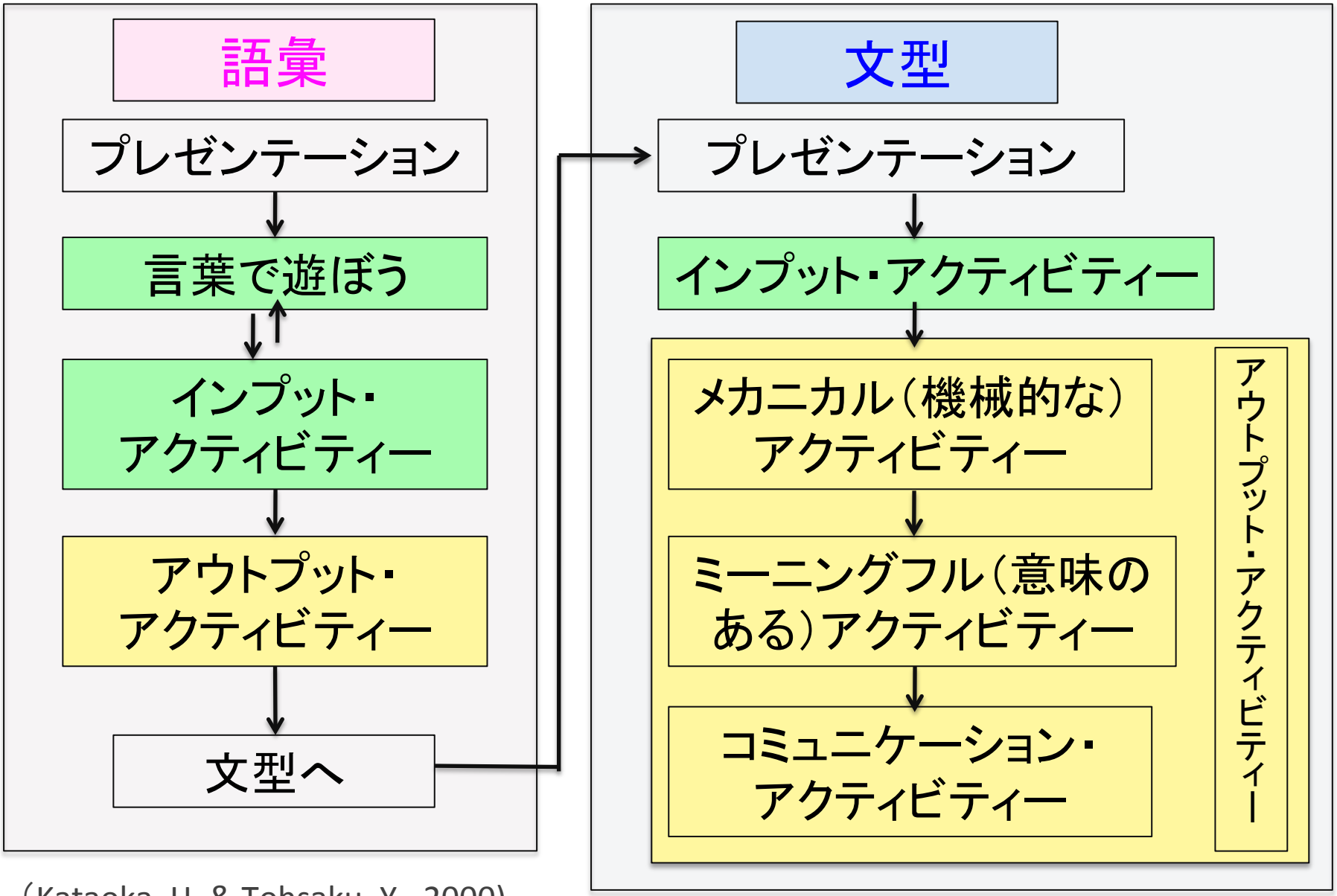
© 片岡裕子2016

「所在を述べる」アセスメント

1	次の（　　）の中に適切な言葉を入れてください。（または、あります／います、のどちらかを選んで記入してください。） 例：「この部屋にはテレビが（　　）。そしてドアの前にネコが（　　）。」
2	（部屋の絵を見せて、）絵にあるものと場所をリストしてください。 例：「この部屋の真ん中にテーブルがあります。椅子の上にネコがいます。」
3	あなたのうちに日本人の学生が来ることになりました。1週間ホームステイをします。その人が泊まることになる部屋にどんなものがあるか電子メールで教えてあげてください。写真を一緒に送っても構いませんが、必ず説明も付けてください。 例：　〇〇さんは、私の部屋に泊まります。部屋にはベッドが二台あります。ベッドとベッドの間にナイトテーブルがあります。机は部屋の中にはありません。廊下にあります。

© 片岡裕子2016

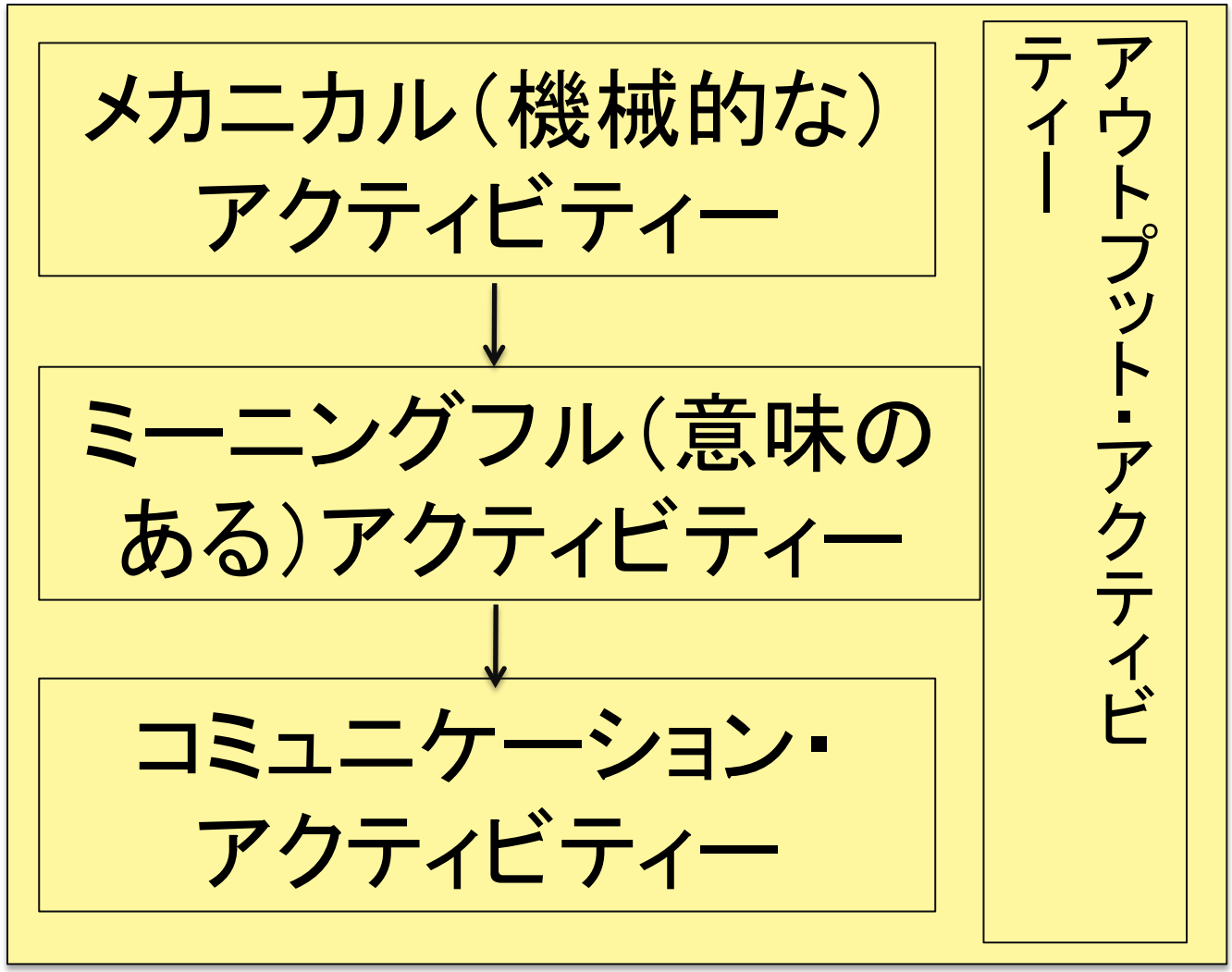
５＋５ステッププラン



（Kataoka, H. & Tohsaku, Y., 2000)

© 片岡裕子2016

アウトプットアクティビティー



© 片岡裕子2016

会話練習における注意事項
（スタンダーズのゴール1：対人関係コミュニケーションから）

- 学習者の発話はすべてが「コミュニカティブ」であるとは限らない。
- 学習者同士の言葉のやり取りが「コミュニカティブ」であるとは限らない。
- 対人関係コミュニケーションの練習は実生活で実際に行われているコミュニケーションに基づいていなければならない。

© 片岡裕子2016

コミュニケーションの練習

★対人コミュニケーションではない例

下の絵を使って、例のような会話を作りなさい。

X：消しゴムはいくつありますか。
Y：消しゴムは５つあります

なぜこれはコミュニケーションではないのか?

イラストポップhttp://illpop.com/

© 片岡裕子2016

コミュニケーションの練習

対人コミュニケーションにするには:

例１：日本語の先生が教室の備品調べをしています。教室にあるものを調べてメモを取り、先生に口頭で報告してください。

- –例： はさみが三つあります。黒板消しは二つあります。
- –バリエーション：教室を前後または左右に分け、ペアで担当部分を調べ、お互いに教え合って、リストを完成する。

例２：クラスでの学習のためにあった方がいいものがありますか。リストを作って先生に報告して下さい。

- –例：セロテープがいります。ペンも１０本いります。

© 片岡裕子2016

コミュニケーションの練習

コミュニケーションの練習活動に欠かせない要素

- 場面／状況設定(いつ、どこで、どんな時に?)
- 理由　(なぜ?)
- 内容　(何を?)
- 方法　(どうやって?)
- 期待される結果　(そうすると、何がどうなる?)

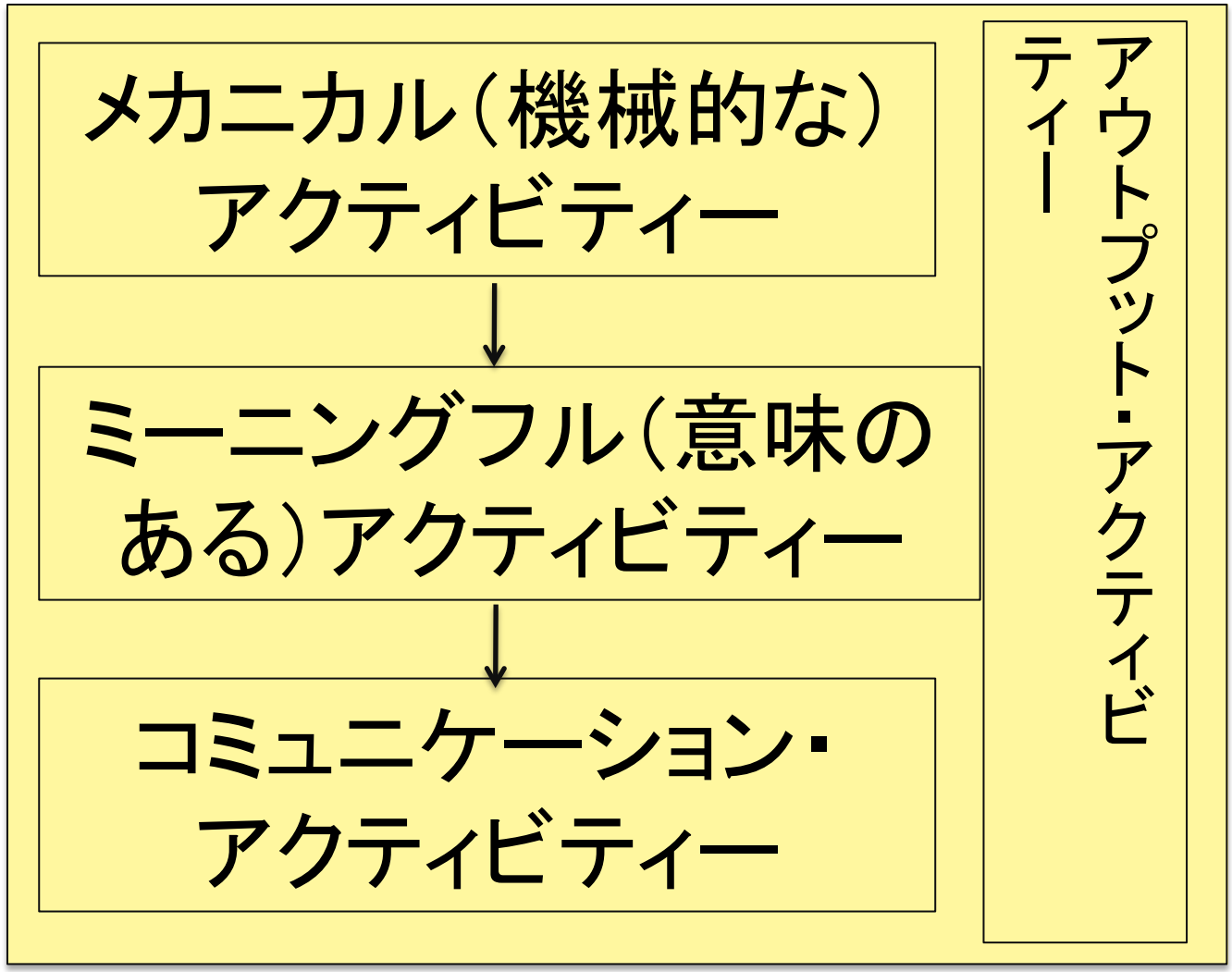
↓

実際の生活におけるコミュニケーション

↳ “Personalization” (自分関連付け)
“Contextualization”(コンテクスト化)

© 片岡裕子2016

アウトプットアクティビティー



© 片岡裕子2016

アウトプット・アクティビティー
（メカニカル・アクティビティー）

- 形の練習；「習慣付け」；教師によるコントロール
- 決められた練習；可能性のある答はほとんどの場合一つだけ(最初から決まっている回答のみ）
- 学習者が自分のことを言う練習はない
- コンテクストはあった方がよいが、ない場合もある

© 片岡裕子2016

アウトプット・アクティビティー
（ミーニングフル・アクティビティー）

- 限られたコンテクストの中で、文型を使って自分の言いたいことを言う練習.
- 回答は予測できることが多いが、必ず何らかのコンテクストがあり、個人的な答、意見、考え等を言う。
  - »Contextualization
  - »Personalization

© 片岡裕子2016

アウトプット・アクティビティー（コミュニカティブ・アクティビティー）

- 既知の文型と新規導入された文型をともに使う練習。教師によるコントロールは非常に少ない。
- 実生活で起こりえるシチュエーション。
- 自分で文を作り、言いたいこと、意見、考え等を自由に言う。
- コミュニケーションを行う理由とコミュニケーションの結果がある。

© 片岡裕子2016

アウトプットアクティビティー（１）

1. ＡとＢは、佳子さんの土曜日の予定表です。抜けているところがあるので、パートナーに聞いて書き入れましょう。

A

6:00 a.m.	おきる
7:00	
8:00	朝ごはんを食べる
9:00	せんたくをする
10:00	
11:00	うちにかえる
12:00 n	
1:00 p.m.	
2:00	本をよむ
3:00	
4:00	ひるねをする
5:00	
6:00	
7:00	ばんごはんを食べる
8:00	
9:00	
10:00	友だちのうちのパーティーに行く
11:00	友だちのうちにいる
12:00 m	
1:00 a.m.	ねる

B

6:00 a.m.	
7:00	ジョギングする
8:00	
9:00	
10:00	スーパーに買いものに行く
11:00	
12:00 n	ひるごはんを食べる
1:00 p.m.	ひるねをする
2:00	
3:00	おんがくをきく
4:00	
5:00	シャワーをあびる
6:00	デートに行く
7:00	
8:00	えいがを見る
9:00	（えいがかんにいる）
10:00	
11:00	
12:00 m.	パーティーからかえる
1:00 a.m.	

© 片岡裕子2016

アウトプットアクティビティー（２）

2. これは佳子さんが土曜日にしようと思っていることです。どの順番に、そして何時にすると、時間がうまく使えて、楽しい一日になるでしょうか。表に書き入れた後、パートナーに口頭で説明してください。パートナーは質問してもいいです。

8:00 a.m.	
9:00	
10:00	
12:00 noon	
1:00 p.m.	
3:00	
5:00	
6:00	
7:00	
9:00	
11:00	

せんたく
あさごはん
ひるごはん
ばんごはん（レストラン）
えいが
ねる
おきる
シャワー
うちにかえる
パーティー
スーパーで買いもの

© 片岡裕子2016

アウトプットアクティビティー（３）

6:00 a.m.	
7:00	
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00 noon	
1:00 p.m.	
2:00	
3:00	
4:00	
5:00	
6:00	
7:00	
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00 mdnt.	
1:00 a.m.	

3.（ペアワーク）今週土曜日の予定はどうなっていますか。何時に何をするか表に書き入れてから、パートナーの質問に答えてください。パートナーには、何時に何をする予定か聞いてください。

© 片岡裕子2016

アウトプットアクティビティー（４）

4. ４人のグループを作ってください。この４人は、土曜日に1時間集まってクラスのプロジェクトをすることになっています。3で書いたスケジュールをもとにして、何時に全員が集まることができるか、電話やスカイプなどで話し合って決めてください。

リアリティーチェック：Doodle (Scheduling)を使うと、、、(問題です。）

© 片岡裕子2016

まとめ

1. 目的と、求めている結果が何かをはっきりさせる。

2. その結果に達したかどうかがどうすれば分かるかを考え、評価方法を決定する。(「これができれば、ゴール達成！」)

そこで初めて、、、

3. 学習活動デザインを決める。(内容、アプローチ、教材、学習活動の組み合わせなど)

© 片岡裕子2016

学習活動のまとめ

目標設定：実生活において何ができるようになるのか。

↓

評価方法決定：実生活においての言語使用

↓

教材決定／作成；レッスンプラン作成：学習活動：語彙、文法、表現，漢字等の知識を基礎としたコミュニケーションのための練習活動

© 片岡裕子2016